

真庭市図書館基本計画

～本の香りがするまちづくり～

平成 27 年 6 月

真庭市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 真庭市図書館基本計画の概要	2
I - 1 計画の位置づけ	
I - 2 計画の期間	
II 真庭市図書館基本計画の施策	3
II - 1 施策の方針	
II - 2 基本施策と施策内容	
<図書館体制>	
(1) 中央図書館	
(2) 地区図書館・室	
(3) 特徴ある各図書館の資料収集	
(4) 自動車文庫の活用	
(5) 学校図書室の活用	
(6) 効率的な資料の収集	
<図書館運営>	
(7) 専任館長の配置	
(8) 市民が主役の読書機運の醸成	
<行政政策>	
(9) 喫茶スペースの設置	
(10) 開館時間延長のモデル実施	
(11) まち並み図書館との連携	
III 参考資料	6

はじめに

平成24年11月に策定した真庭市図書館基本構想では、「市民一人ひとりが生涯を通じて世代に応じた学習を自由に主体的に取り組み、自己を高めるとともに、お互いが認め合い、共生していくためには、市民だれもが『いつでも、どこでも』自由に学習機会を選択して学ぶことが出来る『生涯学習社会の構築』を目指していくことが重要」であることを基本方針とし、その実現に向けて生涯学習を総合的に進めるための拠点として、図書館は今後一層の充実が求められる施設であることと位置づけています。

これまで、この真庭市図書館基本構想を基に市立図書館ホームページの開設や図書検索システムの導入などインフラ整備に努めるとともに、市内広域利用促進を目的とした施設間の配送システムの運用など図書館サービスの充実を図ってきました。

この度、真庭市図書館基本構想の考え方を具体化し、“本の香りがするまちづくり”を推進していくため、「真庭市図書館基本計画」（以下、「計画」という。）を策定しました。

I 真庭市図書館基本計画の概要

I - 1 計画の位置づけ

真庭市教育委員会では、平成24年11月に『真庭市図書館基本構想』を策定し、図書館のあり方について方針を示しています。また、真庭市では平成27年1月に『第2次真庭市総合計画』を策定しました。

本計画は、『第2次真庭市総合計画』で掲げている、教育の観点から一人ひとりの可能性を広げることを目的とし、『真庭市教育振興基本計画』の真庭市教育行政重点施策に掲げる「生涯学習意識の醸成と環境づくり」に位置づけられた“本の香りのするまちづくりの推進”の実現に向けて、『真庭市図書館基本構想』の方針を基に、真庭市立図書館の運営に必要な施策を実現するために策定するものです。



I - 2 計画の期間

本計画の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。今後、第2次真庭市総合計画の基本方針や情勢の変遷を反映していくとともに、必要に応じて計画期間中の見直しを行います。

Ⅱ 真庭市図書館基本計画の施策

Ⅱ - 1 施策の方針

真庭市民が本を手にとることをより身近に感じ、子どもにとって読書することは、心の成長を促進し、教養を深めるという観点から大変重要です。大人にとっても様々な知識や情報を得ることは、精神面での充実感だけでなく、生活をする上での必要な情報を得ることが出来るものです。

よって、図書館を充実することにより、心豊かな生活を送ることが出来る地域にしていくための施策を以下に掲げます。

Ⅱ - 2 基本施策と施策内容

<図書館体制>

(1) 中央図書館

現在、真庭市立図書館・室における市民1人当たりの蔵書冊数は、県内市町立図書館の平均を上回っているものの、施設ごとに重複して同一書籍を有していることもあり、書籍数は十分とは言えない状況です。また、日本図書館協会の示す、人口を基に算出する蔵書冊数と比較すると、真庭市立図書館・室全体の蔵書冊数も十分なものとは言えません。そのため、専門書も含めた蔵書を有するとともに、地区図書館・室の運営を統括する、基幹となる図書館（以下、「中央館」という。）を新たに指定します。指定については、利用者の利便性、収蔵能力、施設整備コスト等の観点を考慮して検討します。

※1人当たりの蔵書冊数…岡山県内市町立図書館の平均：3.3冊

真庭市立図書館・室全体：3.8冊

※基準と現状…日本図書館協会の示す蔵書冊数基準：251,000冊

真庭市立図書館・室全体の蔵書冊数：179,000冊

(2013年度実績)

(2) 地区図書館・室

面積が広い真庭市において、市民が図書に触れる機会を確保するため、各地域の図書館・室を維持していきます。

(3) 特徴ある各図書館の資料収集

将来的には、各地域の特徴を踏まえた特色ある資料収集とその活用に努めます。

(4) 自動車文庫の活用

広域にわたる図書館サービスの提供を実現していくため、引き続き自動車文庫を活用していきます。

(5) 学校図書室の活用

市民が身近に図書に触れる機会を確保するため、高等学校も含め学校図書室の活用を検討します。

(6) 効率的な資料の収集

中央館と地区図書館・室との役割分担を踏まえて、計画的な資料収集を行います。また、必要な資料の収集を効率的に行うため、古書の購入や寄贈本の受入れを行います。

以上のことを踏まえ、図書館の組織体制(図1)を位置付けます。

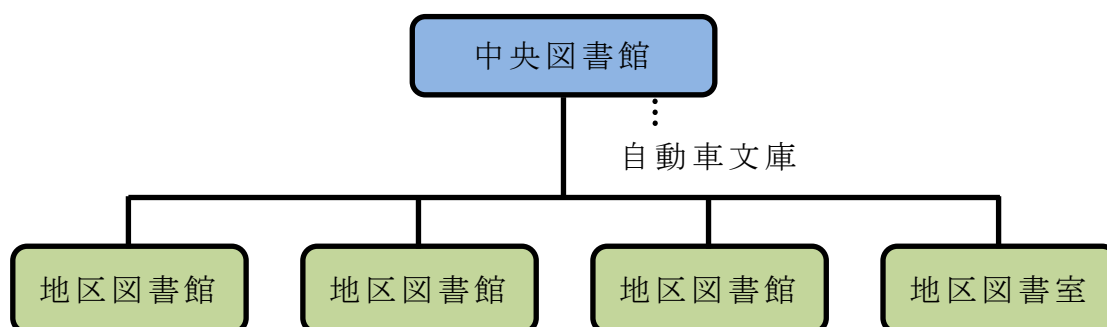


図1：図書館組織図(イメージ図)

＜図書館運営＞

（７）専任館長の配置

地域社会の現状と将来を見据えた図書館運営の責任者として、専任館長を中央館に配置します。

（８）市民が主役の読書機運の醸成

読み聞かせや行事に加えて、利用者による図書の紹介等により、市民が主役の読書機運の醸成を行います。市民が主役となって情報発信を行う際には、市広報の活用や真庭いきいきテレビとの連携を行います。

＜行政政策＞

（９）喫茶スペースの設置

快適に過ごすことができる図書館づくりを目指すため、図書館内（または図書館付近）に特定の場所で喫茶スペースを検討します。

（10）開館時間延長のモデル実施

利用者の利便性を考慮し、市民ニーズに沿った夜間開館をモデル的に試験実施します。身近に本のある生活をめざし、仕事がある人も就業後に気軽に図書館を利用できる環境を整えていきます。

（11）まち並み図書館との連携

まち並み図書館との連携を行い、市民に対する図書サービスの充実を図ります。

III 参 考 資 料

平成26年度 図書館・室利用状況一覧表

平成26年4月～27年3月

項目 館名	延べ床面積 (㎡)	開館日数 運行日数 (日)	来館者数 (人)	登録者数 【総数】 (人)	利用者数 (人)	貸出冊数 (冊)	返却冊数 (冊)	レファレンス (件)	蔵書冊数 (冊)	備 考
久世	600.0	299	37,292	5,369	16,112	79,308	76,680	1,250	67,211	
勝山	246.8	288	11,995	1,571	6,607	24,635	24,929	236	30,696	
蒜山	254.0	302	6,434	1,394	4,515	19,552	16,320	215	31,241	
(内、自動車文庫)	—	(69)	—	—	(1,163)	(3,349)	(3,285)	—	—	
落合	63.0	300	9,152	642	5,398	22,754	23,674	42	16,226	※
湯原	96.0	311	2,532	459	1,259	4,860	4,951	4	8,677	
美甘	60.0	359	425	464	432	1,626	1,699	2	4,238	
北房	194.0	306	12,357	1,311	6,128	27,655	28,666	23	25,644	
合計	1,513.8	2,165	80,187	11,210	40,451	180,390	176,919	1,772	183,933	
H25		2,162	81,684	10,228	39,921	170,741	171,159	2,309	179,368	

真庭市の図書館サービスの現状

人 口	48,204 人	※平成27年3月31日現在
蔵 書 数	183,933 冊	市民一人あたり 3.82 冊
登 録 者 数	11,210 人	市民の方の 23.3 %
利 用 者 数	40,451 人	市民の方の 83.9 % ※延べ利用者数です
貸 出 し 冊 数	180,390 冊	市民一人あたり 3.74 冊

※…落合公民館立替工事にともない、サテライト公民館内(サンプラザ3F)にて開館。

(公社)日本図書館協会

「日本の図書館」2014より

人口4万人以上6万人未満の市立図書館(161市)の自治体別指標

奉仕人口1人当たり											都道府県名	市	専任職員(実数)		
都道府県名	市	貸出密度	都道府県名	市	蔵書数	都道府県名	市	資料費(予算)円							
上位10市平均		11.7	上位10市平均		8.1	上位10市平均		585.1	上位10市平均		11				
	平均	5.0		平均	4.0		平均	254.1		平均	4				
1	滋賀	高島市	15.4	1	滋賀	高島市	10.2	1	熊本	山鹿市	904.0	1	東京	福生市	17
2	滋賀	野洲市	14.0	2	長崎	南島原市	9.3	2	兵庫	西脇市	715.5	2	石川	七尾市	16
3	兵庫	小野市	12.2	3	山梨	北杜市	8.9	3	茨城	つくばみらい市	692.8	3	滋賀	湖南市	11
4	滋賀	米原市	11.8	4	富山	南砺市	8.3	4	福岡	嘉麻市	578.5	4	沖縄	宮古島市	11
5	福岡	福津市	10.9	5	群馬	沼田市	7.7	5	和歌山	岩出市	567.2	5	長野	茅野市	10
6	東京	福生市	10.7	6	石川	能美市	7.5	6	滋賀	高島市	496.5	6	千葉	富里市	10
7	佐賀	武雄市	10.7	7	滋賀	野洲市	7.4	7	福岡	朝倉市	491.5	7	青森	五所川原市	9
8	熊本	合志市	10.4	8	福岡	嘉麻市	7.3	8	島根	浜田市	475.2	8	長崎	島原市	9
9	石川	能美市	10.3	9	東京	福生市	7.2	9	群馬	みどり市	466.4	9	沖縄	糸満市	8
10	岡山	赤磐市	10.2	10	徳島	阿波市	6.9	10	岡山	赤磐市	463.1	10	福岡	古賀市	8
10	岡山	赤磐市	10.2	15	岡山	赤磐市	6.2	10	岡山	赤磐市	463.1	24	岡山	赤磐市	7
52	岡山	井原市	5.8	16	岡山	井原市	6.2	14	岡山	井原市	425.8	85	岡山	笠岡市	3
96	岡山	笠岡市	3.8	125	岡山	笠岡市	2.9	70	岡山	笠岡市	245.9	102	岡山	井原市	3
144	岡山	真庭市	2.2	139	岡山	真庭市	2.6	121	岡山	真庭市	163.2	147	岡山	真庭市	0

※貸出密度＝貸出数÷奉仕人口

・2014年4月1日現在

・貸出数は、個人貸出で雑誌、視聴覚を含む2013年度実績

・蔵書数は、2014年3月31日現在の図書総数

・資料費は、2014年度予算で図書、雑誌新聞、視聴覚資料、その他図書館資料購入費

岡山県図書館指標(自治体別)

平成26(2014)年4月1日現在
(実績は平成25(2013)年度)

公共図書館調査
(平成26年度)

奉仕人口1人当たり										人口千人当たり		専任職員1人当たり サービス人口(千人)					
貸出冊数 (冊)		蔵書冊数 (冊)		2014年度資料費 予算(円)		2012年度資料費 決算(円)		年間受入 冊数(冊)									
1	久米南町	15.6	1	久米南町	14.9	1	瀬戸内市	797.5	1	里庄町	664.9	1	里庄町	408.0	1	早島町	6.1
2	赤磐市	10.2	2	奈義町	12.8	2	里庄町	622.7	2	奈義町	560.4	2	奈義町	391.2	2	奈義町	6.2
3	鏡野町	9.9	3	里庄町	12.3	3	早島町	515.2	3	井原市	483.6	3	鏡野町	332.8	3	赤磐市	6.4
4	奈義町	8.7	4	和気町	10.5	4	奈義町	508.3	4	早島町	465.5	4	早島町	327.3	4	津山市	9.6
5	矢掛町	7.4	5	早島町	10.3	5	鏡野町	493.0	5	鏡野町	460.3	5	美咲町	288.6	5	里庄町	11.1
6	里庄町	7.3	6	鏡野町	8.4	6	勝央町	489.5	6	美咲町	443.6	6	久米南町	283.3	6	勝央町	11.4
7	岡山市	6.1	7	美咲町	7.4	7	美咲町	473.6	7	赤磐市	422.7	7	吉備中央町	283.3	7	吉備中央町	12.6
8	早島町	6.1	8	矢掛町	6.8	8	赤磐市	463.7	8	矢掛町	398.4	8	和気町	273.6	8	玉野市	12.7
9	井原市	5.9	9	井原市	6.2	9	井原市	430.5	9	勝央町	381.2	9	井原市	254.7	9	総社市	13.6
10	総社市	5.9	10	赤磐市	6.2	10	久米南町	418.3	10	浅口市	365.5	10	矢掛町	241.7	10	鏡野町	13.9
11	倉敷市	5.8	11	新見市	6.1	11	矢掛町	387.3	11	久米南町	356.3	11	新見市	239.5	11	井原市	14.5
12	新見市	5.8	12	浅口市	5.3	12	和気町	375.0	12	新見市	325.7	12	勝央町	220.9	12	和気町	15.3
平均		5.6	13	勝央町	5.2	13	浅口市	368.4	13	和気町	305.8	13	赤磐市	215.8	13	倉敷市	15.6
13	浅口市	5.5	14	津山市	4.1	14	新見市	311.0	14	吉備中央町	262.9	14	浅口市	196.7	14	高梁市	16.8
14	勝央町	5.5	15	高梁市	4.1	15	吉備中央町	271.8	15	高梁市	236.0	15	美作市	153.5	15	笠岡市	17.5
15	津山市	5.4	16	美作市	3.9	16	笠岡市	247.4	平均		204.3	16	高梁市	143.9	平均		17.7
16	和気町	5.1	17	備前市	3.4	17	高梁市	247.2	16	玉野市	184.1	平均		131.2	16	岡山市	22.0
17	吉備中央町	4.3	平均		3.3	平均		225.6	17	倉敷市	180.8	17	玉野市	128.9	17	新見市	32.5
18	美咲町	4.1	18	玉野市	3.0	18	玉野市	186.9	18	真庭市	173.8	18	総社市	121.5	18	浅口市	36.1
19	笠岡市	3.8	19	総社市	3.0	19	倉敷市	185.1	19	笠岡市	173.4	19	倉敷市	113.4	19	備前市	37.5
20	玉野市	3.8	20	笠岡市	2.9	20	岡山市	176.9	20	備前市	168.0	20	笠岡市	106.9	20	瀬戸内市	専任なし
21	美作市	2.9	21	倉敷市	2.7	21	総社市	175.0	21	津山市	166.0	21	岡山市	106.3	21	真庭市	専任なし
22	備前市	2.7	22	吉備中央町	2.7	22	備前市	170.7	22	岡山市	165.3	22	津山市	104.8	22	美作市	専任なし
23	高梁市	2.2	23	真庭市	2.6	23	真庭市	164.3	23	総社市	142.1	23	備前市	103.1	23	矢掛町	専任なし
24	真庭市	2.2	24	岡山市	2.2	24	津山市	132.3	24	瀬戸内市	117.3	24	真庭市	97.0	24	久米南町	専任なし
25	瀬戸内市	1.9	25	瀬戸内市	1.0	25	美作市	108.1	25	美作市	111.6	25	瀬戸内市	68.7	25	美咲町	専任なし
(参考)岡山県		0.7	(参考)岡山県		0.6	(参考)岡山県		90.2	(参考)岡山県		90.4	(参考)岡山県		33.3	(参考)岡山県		48.6

注) ①複数館ある市町は、複数館の合計とした。

②市町平均は、該当項目の合計を該各市町人口で割った。

③2014年度予算に使用した「奉仕人口」は、岡山県住民基本台帳年報平成26(2014)年1月1日現在の数値を使用した。

④2012年度決算に使用した「奉仕人口」は、岡山県住民基本台帳年報平成25(2013)年3月末の数値を使用した。

※平成24年7月の住民基本台帳法改正により③④共に外国人を含む。

⑤奉仕人口一人あたりの予算・決算額は、臨時的資料費も含む。

⑥登録および貸出において、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、

早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町は、自治体外貸出(広域利用)を行っている。